

課題に対する外部評価実施者意見(コメント)	担当課返答
<p>民間に類似の講座があるからというの見直し理由にはならないと考えます。文化的なイベントや講座を行政が主催していること、したがって近い場所で、低料金で利用できることが大きな便益であるからです。担当課の意見にもあるように、民間の講座とは趣旨も従って内容も異なっているのですから、横並びに扱うのは不適切だと考えます。</p>	<p>市民の文化芸術活動の活性化のきっかけづくりにつながる、文化行政独自の講座を今後も継続します。</p>
<p>行革担当課としては、市民または民間が行う講座との統廃合を検討するようにとの意見があるが、営利を目的とする民間講座とはそもそもの目的が違うように感じる。担当課の意見にあるように「初心者にとって最初のきっかけを生むこと」を目的に継続的に事業を進めるべきと考えます。一方で、アンケート調査等をしっかりと行い、目的に沿った事業となっているかについては、継続的に実施し今後の方向性を検討すべきと思います。</p>	<p>アンケートや受講生、講師の意見などを聴取し、また施設の利用状況なども鑑みて、市民のニーズや「きっかけづくり」の目的に合う講座を行います。</p>
<p>アート講座はこれからもやっていただきたいと考える為、地域で回せるような対策を早めに行えば継続して行えると思うのでお願いしたい。</p>	<p>これまでも多くのサークル活動グループができたように、受講された方が後に、各地域やコミュニティで自発的に活動していくためのきっかけとなる講座を目指します。</p>
<p>ウィズコロナのなかで、感染症拡大防止対策に十分に注意しながら、文化の家事業を進めていくことが大切だと思います。市民が「巣ごもり」状態にならず、文化の家事業等で元気になってもらいたいです。</p>	<p>安全対策に万全を期して、安心してご来場し、楽しんでいただけるような体制を整えます。また、地域に出かけ演奏会やダンス公演などができるようアウトリーチ活動も積極的に取り組んでいきます。</p>